

レベリー

移動式いちご畝ならし機

新製品

特許出願中

ハラックスチャンネル
動画公開中

説明書



●いちご用の畝を、畝上げ機で土上げした後に本体を移動させ、畝のベット部（上部）のレベルを合わせながら畝の形状を作り、整地する機械です。タイヤ付の本体をセンターチェーンを目印に移動させながら作業できますから早くきれいに仕上がります。

■レベリーの機能と作業手順

- (1)アジャスターのハンドルを回し、畝ならしユニット（図1の黄色部分）を上下させ畝の高さにセットし、土寄せ板の幅と角度を合わせる。次に成形板と均し板でカマボコ形か台形か（図3参照）お好みの畝の形状になるように合わせる。
- (2)本体を移動させながら下記の①～③の作業を同時に行う。
 - ①土寄せ板で畝上部の左右の土（図2の斜線の部分）をセンターに寄せる。
 - ②成形板で畝の肩部分の形状をお好みの形に整える。
 - ③調製ノブでベット均し板を上下させベット上面の形状とレベルを合わせながら整地する。

LB-1014 ノパンタイヤ（TR-16N）重量 26kg

定価 **286,000円**（税抜 260,000円）

（送料）1台で元払い（離島は別途）

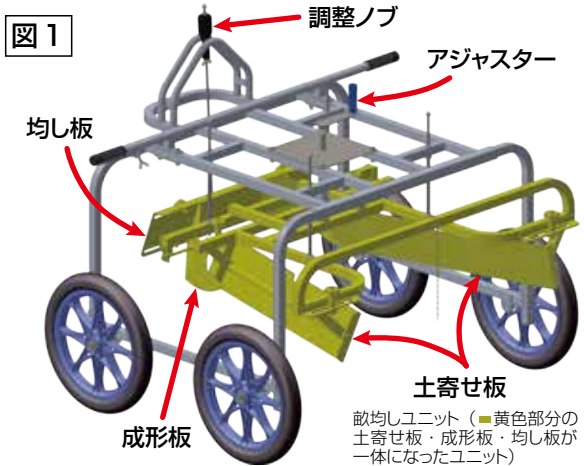
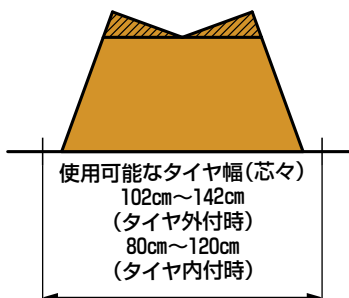
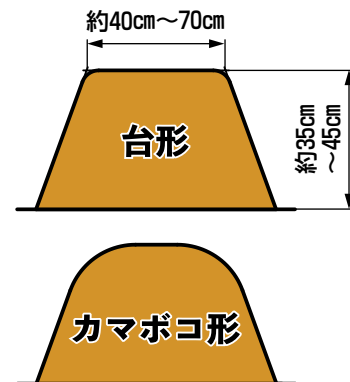


図2 畝上げ機で土上げした状態



※条件によりタイヤを内側に取り付けできない場合があります。

図3 畝の仕上がり形状と仕上げ可能寸法



マークン

苺苗用植付け位置マーク器

ハラックスチャンネル
動画公開中

説明書



▲上の写真は条間23cm、株間ピッチ24cmです。

◀左の写真はRM-2024を使用し条間23cm株間ピッチ24cmです。

- 苺苗定植用のベッドにローラーが回転しながら植付け位置をマークできます。
- ライン引きや他のマーク用棒や糸に比べ、素早く正確にマークします。
- 中央案内用のタイヤが先行して走行するため、マークが安定します。
- スポーク長さを調節することにより、株間ピッチが無段階に設定できます。
- 左右のローラーが独立しているため並列でもチドリでもマークできます。
- ハンドル高さ・向き・幅方向が自在に調節できます。
- タイヤをハンドル側にハネ上げたまま、片輪（外側のローラー）走行で、ハウス両側の1条マークができます。



RM-2024

株間ピッチ20～24cm 重量 5.0kg
条間17.5～34cm（組替えて60cmまで可能）
定価 **61,490円**（税抜 55,900円）

RM-2428

株間ピッチ24～28cm 重量 5.1kg
条間17.5～34cm（組替えて60cmまで可能）
定価 **61,490円**（税抜 55,900円）

（送料）2台で元払い（離島は別途）（1台梱包）